

# 水産分野の研究計画の構成(平成23年度の研究と平成24年度以降の研究)

H23. 3. 11

岩手県の復興計画

先端技術展開事業の流れ

持続可能な漁業・養殖業

省エネ・省コスト高付加価値水産業・水産加工業

スマートヒレレジ化

復旧期

再生期

発展期

地元のニーズに応じ、緊急的に導入すべき技術の実証研究

復旧の動きにあわせ早期に導入すべき技術の実証研究

新たな技術体系構築のための組合せ・効果把握

新たな技術体系確立

成長力のある農林水産業を支える技術体系を確立し、全国で成果を活用

平成23年度の研究

平成24年度の研究

天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究  
(リモートセンシング、漁海況・生態系予測モデル、サケ回帰率向上技術、ワカメ自動収穫技術等)

分野横断的な技術の組合せも検討

追加的に検討すべき技術的課題の解決、導入済み技術の効果把握

技術の組合せ・体系化

アワビ種苗の緊急増殖研究  
(再成熟採卵法)

分野横断的な技術の組合せも検討

追加的に検討すべき技術的課題の解決、導入済み技術の効果把握

技術の組合せ・体系化

地域資源を活用した省エネ、省コスト、高付加価値型の水産業・水産加工業の実用化・実証研究  
(灯火漁業でのLED利用、小型サバ等の畜養、サンマ・サケ等の高品質加工技術、機能性素材化、ICT利用)

科学的知見を活かした漁場環境の把握、適切な資源管理による漁場・資源の回復、水産加工・流通業及び関連産業の復興を技術面から支援・加速

自然エネルギーを利用した漁村のスマートコミュニティ化技術実用化・実証研究  
(漁村・水産加工施設等での電力・熱利用特性分析、漁港等に適したシステム、冷蔵・冷凍設備の災害対応システム)

分野横断的な技術の組合せも検討

追加的に検討すべき技術的課題の解決、導入済み技術の効果把握

技術の組合せ・体系化

確立した技術を全国で展開

復興状況に応じた課題の追加・検討の前提

H23

H24

H25

H26

H27

H28

H29

H30

H31

H32

H33